

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

46

2015年10月発行

海遊館に行こう！



日時：2015年7月11日（土）10：30～16：30

場所：地域生活サポートネットほうぷ ～ 海遊館

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 10名

学生ボランティア 7名、社会人ボランティア 2名

助成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

昨年、天保山に行くイベントを開催しましたが、海と船を見るだけで帰ってきました。海遊館に入りたくて泣いた子どもがいて、とても心が痛みました。今回は、助成金をいただき、海遊館に入館することができました。地下鉄を乗り継いで天保山に着くと、まずはお弁当タイム。ベンチに座り、海を眺めながらお昼ご飯を食べました。子どもそれぞれのペースで見学できるように、大学生ボランティアに付き添ってもらい、グループやペアで館内を回りました。最後の体感エリアでは、海の生物に触れることができ、子どもたちは長い時間、楽しそうに触れ合っていました。とても良い体験ができました。

<参加者の感想から>

- ・ ボランティア自体が初めてで、人見知りをするので、最初は不安でしたが、子どもの人柄に助けられたといったところでした。子どもたちと一緒に楽しむことができました。
- ・ 今日一日、Aちゃんと過してすごく楽しかったです。スタッフの方に、赤ちゃんの泣き声が苦手なことやエレベーターが苦手なことを事前に教えていただけたので、とまどうことなく対応することができました。それでも、お昼ご飯の時、近くにいた赤ちゃんの泣き声が聞こえ、泣くという合図をずっとして、「だいじょうぶ」だけではうまく切り替えができませんでした。もっと意識を違うところにもっていくような方法を見つけれれば良かったなと思いました。Aちゃんは、絵カードやマカトンを使ったコミュニケーション方法があって、すごく勉強にもなりました。これから、その子一人ひとりに応じた接し方の工夫がもっとできるように努力していきたいと思います。
- ・ 久しぶりに参加して、まずはじめに、みんな背がとても伸び



ていたり、内面的にも成長しているなど感じました。今日、担当したBちゃんは、去年の天王寺動物園に行って以来でした。本当に成長を感じて嬉しくなりました。私の言う言葉に対して、耳を傾けてくれていました。サメに触れるコーナーがとても楽しかったみたいです。



ゆかたを着ておでかけしよう！



日 時：2015年8月4日（火）13：00～18：00

場 所：地域生活サポートネットほうぶ ～ 千林商店街

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 10名、学生ボランティア 15名

協 力：旭区老人クラブ連合会女性部のみなさん・トモ美容室

助 成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

ほうぶの夏の恒例イベントになった、浴衣を着て夜店に行くイベントです。美容師さんに髪をきれいにセットしてもらいました。子ども自身が好きな髪型の写真を選び、かわいい感じ、大人っぽい感じ、みんなワクワク、順番を待っていました。男子もラメを入れたりアレンジをしてもらったり、照れながらセットしてもらいました。老人クラブ連合会の方々に着付けをしていただきました。浴衣を持っていない子どものために浴衣も貸していただきました。本当にありがとうございました。4時から、近くの千林商店街の夏祭りの夜店に出かけました。子どもたちは暑くて汗ダクになりながら浴衣を着て歩き、学生さんと一緒に夜店を楽しんできました。

<ボランティアの感想から>

- ・今日は初めてのボランティアで緊張していましたが、みんなフレンドリーに絡んでくれるので、緊張が和らぎました。また、出かける前の間に、アニメの話、雑誌の話、アーティストの話、ゲームの話などをして盛り上がりました。けん玉や絵しりとりも楽しかったです。お祭りでは、きちんとケガなくまわれるか不安でしたが、Aちゃんが先頭をきって歩いてくれたので、すごく助かりました。帰りに、楽しかった？と聞くと、「楽しかった！」と答えてくれてうれしかったです。また、機会があれば、もっとみんなと交流を深められるようになりたいと思いました。
- ・浴衣を着て歩くという内容で、お祭りもあり、歩きにくく、人混みが多いので心配していましたが、Bちゃんがペースを合わせてくれたので、楽しく歩くことができました。
- ・今日、初めてほうぶに来させていただきました。以前にボランティアで養護学校に行っていたことはありましたが、やはり、初対面の子たちばかりで緊張しました。でも、担当のCちゃんが話しかけてくれてうれしかったです。今回、しゃべったり関わったりする子は

少なかったですが、次回からはもっといろいろな子としゃべりたいです。

- ・ いつもとは違って、浴衣を着て出かけるので、とても楽しみにしていました。浴衣だけではなく、髪の毛もセットしていただけて、私自身もいい思い出になりました。今日は、Dちゃんを担当させてもらいました。久々に会ったので、どうかな～と思いましたが、名前を憶えてくれていて、うれしかったです。ジャニーズの話や好きなものの話をたくさんしてくれました。お祭りでは、ラムネ、フランクフルトを食べたり、金魚すくいを2回したりして、とても楽しそうでした。
- ・ 初めての参加で緊張していたのですが、人見知りせず、話しかけてくれる子が多くてすごく接しやすかったです。女の子たちの髪の毛がすごくかわいくて、男の子もかっこよくて、自分で写真を撮ったり、鏡を覗いたり、嬉しそうなのがかわいかったです。Eちゃんが最初はすごく照れていたのですが、祭りの帰りに自分から話してくれたのがうれしかったです。



カフェほうぶ&キラキラ☆ショップほうぶ 開店！

日時：2015年9月5日(土) 14:00~15:30

場所：あさひあったかきち(旭区 今市商店街)

参加者：障害をもつ子ども 12名、学生ボランティア 9名

助成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成



野球選手になりたい！ ケーキ屋さんになりたい！ 子どもたちが目を輝かせて夢を語るってステキです。どんな仕事があるのかを知って、将来を思い描いてほしいと思います。しごと体験のひとつとして、「カフェ ほうぶ」と「キラキラ☆ショップ ほうぶ」をオープンしました。一日だけ、その上、短時間ではありましたが、喫茶と販売の体験をし、地域の人たちとふれあい、貴重



な体験ができたと思います。「あさひあったかきち」は、区民の交流の場で今市商店街の中にあります。普段は、障害者団体の方々がパンやクッキーを販売していたり、通りがかりの方々が立ち寄ってお茶をしながらおしゃべりをしていたりします。

「カフェ ほうぷ」は、アイスコーヒーセットとアイ스티ーセットの2つだけのメニューを作って、冷たい飲み物とお菓子を出しました。注文を間違えないように、注文時に、アイスコーヒー・アイ스티ーのどちらかに丸をしたり、テーブルに番号札を置いたりして工夫をしました。また、「キラキラ☆ショップ ほうぷ」は、子どもたちが作った七宝焼のペンダントやバッチを販売しました。

地域の方々や老人クラブ連合会の方々がお客さんで来てくださり、「次回はいつ?」「またやってね!」と応援してくださいました。仕事をしたら報酬があることも学びなので、収益は子ども達で分け合いました。計算の得意な中学生が、大人と一緒に電卓をたたいて給与の計算をしました。一人150円とわずかな金額でしたが、みんな、うれしそうに受け取っていました。



<ボランティアの感想から>

- ・店の前で声かけしたり、注文を取ったりしました。子どもたちは、はじめは「ドキドキする」と緊張していましたが、慣れてくると自分から積極的に声かけする様子が見られたりして、仕事を楽しんでいて良かったと思いました。
- ・前半は七宝焼の販売をしました。最初はお客さんもあまり来なくて、子どもたちも暇そうにしていたのですが、お客さんが多くなってからは笑顔で接客をしていました。カフェでは子どもたちがすすんでお客さんの所に行くなど自分の判断で行っていたので良かったです。
- ・カフェほうぷでは会計、キラキラショップでは店員をしていました。会計の時は、しっかりとお金の管理をしており、しっかりした一面を見ることができました。店員の時は大きな声で客寄せをしていました。働いた分の給与をもらえるということで張り切ってがんばっていました。



<子どもの感想から>

- ・たのしかった。またやりたいです。
- ・おかあさんがきてくれてうれしすでた。
- ・がんばたのがうれしかたです。
- ・ゆえた。いらしやいませ。



「なんばおにごっこ」に参加しよう！



日時：2015年9月26日（土）9：30～17：00

場所：地域生活サポートネットほうふ ～ 難波

参加者：障害をもつ子ども 10名、学生ボランティア 6名

助成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

大阪で毎年開催されるようになってきた街おにごっこに初めて参加しました。グループに分かれて、街を回りながらクイズを解いたり、「おに」とじゃんけんをしてポイントをもらったりするゲームです。子どもたちにとっては、ルールが難しいのではと思いましたが、障害者団体が多く参加するイベントでいろんな人に出会うこと、難波という繁華街に出かけていくことを目的にして、参加を決めました。4グループに分かれて参加しました。やはり、ゲームのルールが難しく何をやっているのか分からないで歩いた子どもが多かったことと、大人の身体障害者の方が中心で障害児の参加が非常に少なかったことが残念でした。でも、「おに」とのじゃんけんを負けて悔しがったり、グルグルメガネや段ボールで作ったバクトウザフューチャー2の自動車をもって喜んだり、難波で昼食やたこ焼きを食べて嬉しかったり、いろんな体験ができたと思います。スタッフはクタクタでしたが、学生ボランティアさん達には、障害者が多く集まるイベントに参加して学びも多くあったと思います。



＜ボランティアの感想から＞

- ・ほうふの活動への参加は本日が初めてで、不安もありましたが、担当させてもらったAちゃんの方からたくさん話しかけてくれてうれしかったです。また、Bちゃんの車いすを押す機会があったのですが、今までに車いすを押したことがなかったので、とても緊張しました。少しの段差などでも大変だということがよくわかりました。不慣れできちんと対応できなかった場面も多かったとは思いますが、今回、いろいろなことを知ることができたとし、何よりも子どもたちと一緒に楽しむことができました。
- ・少し疲れたが、子どもたちが楽しそうに参加していたので良かった。でも、暑さと行動する範囲が広がったので、最後のほうはみんな疲れていた。様々な人が参加していたイベントだったので、良い経験になったと思う。



放課後等デイサービス「楽童ほうふ」報告

5月に2015年度日本郵便年賀寄附金の助成を受けて雨漏りの修繕をしたので、梅雨や台風の雨に雨漏りの心配をすることなく過すことができました。夏には菜園で、ミニトマト、オクラ、ゴーヤ、そして、1個だけでしたが、スイカ！がなりました。キュウリが枯れ、トウモロコシが不作だったのは残念でしたが、それも学びです。毎日、子ども同士で相談して当番を決めて水やりをしました。収穫して、クッキングの時間に使いました。去年は、トマトとキュウリの苦手な子どもたちがトマトやキュウリを食べてくれましたが、今年は、ゴーヤの苦手な子どもが、ゴーヤ入り焼きそばを作った時、「ゴーヤを入れて」と自分から皿を差し出してきました。自分たちで育てたら「ちょっと食べてみようかな」と思ってくれるようです。スイカは予想以上に甘くて、子どもたちは大喜びでした。

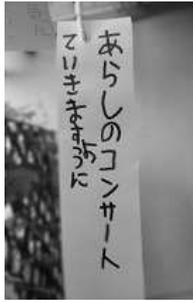
猛暑の夏休みは、ペットボトルで水鉄砲を作って、公園やほうふの周りで水遊びをしました。おやつは、みんなでかき氷を作りました。夏休みの宿題は、ほとんどの子どもたちがお盆までに終わらせていました。夏の終わりには花火もしました。

クッキングは、毎日のようにしました。包丁の使い方や卵の割り方がうまくなってきた子どもたちもいます。毎月、誕生日会も開いています。誕生月の子どものリクエストで、誕生日会のクッキングのメニューを決めます。音楽の時間も毎月行っています。夏休み明けの「キラキラ☆ショップほうふ」に出すための七宝焼作りも頑張りました。「はてな？のじかん」では、いろんな素材でおもしろ糸電話を作って聞き比べをしたり、夏休みの自由研究用に身の回りの物の酸性・中性・アルカリ性による色の変化を調べたり、ドライアイスで空気砲やシャーベットを作ったりしました。友だちと協力して段ボールの空気砲を作ったり、自由研究をまとめたり、楽しみながら学びました。

中高生は、旭図書館でしごと体験をさせていただきました。4日に分かれて行き、9名の中高生が体験をしました。本のバーコードをスキャンしたり、絵本の整理をしたり、ラベル貼りをしたりしました。体験後は、感想文も書いてみました。「バーコードで本をピッとするとところが楽しかった。シュレッダーをする時にゆびがはさまりそうでこわかった」「たいへん」「意外と楽しかったです」。図書館の職員の方がとても丁寧に対応してくださいました。心よりお礼申し上げます。

9月には中一男子の個人将来計画ワークショップを開催しました、毎回、中学校の先生方が参加してくださいます。本当にありがとうございます。自立生活センターおおさかひがしさんのご協力にも感謝いたします。





● 情報 掲示板 ●

バスツアー！ ～収穫の体験をしよう～

日 時：10月24日（土）9時30分集合 午後5時解散

行き先：南楽園（堺市） 定員：15名 参加費：500円

観光バスに乗って行きます。みかん狩り、釣りやいも掘りの体験をします。

この事業は平成27年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金の交付を受けて実施します。



第21回 旭区ふれあい広場

日 時：10月31日（土）11時～15時

場 所：旭区民センター 大・小ホール

主 催：大阪市旭区社会福祉協議会 後 援：旭区役所・旭警察署・旭消防署
ほうぶの子ども達も手作り品の販売をします。リサイクル品も販売します。

重度の障害をもつ娘は、10月の劇団「態変」公演に向け稽古に励んでいます。やりたくて舞台に立つ。誰でも舞台に立てるわけではないから稽古をする。言葉はなくても、手の先に大きなカサブタを作りながら稽古に行く姿に「意志」を感じます。そこに難しい言葉での意味付けや評価は要らない。ただひたすらに生きていく。22年間、娘から「生きること」を教えられてきたようです。

朝夕涼しくなりました。季節の変わり目ですので、みなさま、くれぐれもご自愛ください。

